



収納家具の地震対策メニューのご紹介

事前対策が重要です!

地震による収納庫の転倒・移動、収納物の落下は、近くにいる社員に大ケガを負わせたり、収納庫の下敷きにより身動きがとれなくなると、生死にかかわる危険性も伴います。収納家具をしっかりとした壁や床に専用金具で固定し、いざという時のための対策をおすすめいたします。

振動実験から導かれた対策内容

震度6強までの振動実験結果により、目標震度別に地震対策メニューを設定しました。実験結果は下記の基準で判断しています。

安全性			試験結果の評価
①本体の揺れ	②本体の移動	③本体の破損	
兆候なし	なし	なし	○
兆候あり	200mm未満	使用可能な破損	△ ※①～③のいずれかが該当していれば△
転倒の場合あり	200mm以上	使用不能な破損	× ※①～③のいずれかが該当していれば×



(地震対策メニュー)

施工レベル		Level.0		Level.1		Level.2		
タイプ		ロータイプ (H1300mm未満)	ハイタイプ (H1300mm以上)	ロータイプ (H1300mm未満)	ハイタイプ (H1300mm以上)	ロータイプ (H1300mm未満)	ハイタイプ (H1300mm以上)	
施工方法		固定作業なし	固定作業なし	固定作業なし	壁固定作業 1カ所	床固定作業 2 or 4カ所 下見必要	壁固定作業 床固定作業 2カ所 4カ所 下見必要	
壁固定例								
床固定例								
目標耐震度		震度5弱	○	○	○	○	○	
		震度5強	○	△	○	○	○	
		震度6弱	△	×	△	×	○	○
		震度6強	×	×	×	×	○	○
収納システム	EDIA	P.1232	本体据え置き※1	本体据え置き※1	壁固定1カ所	床固定	壁固定 + 床固定	
	INVENTストレージ	P.1236						
保管庫	保管庫	P.1240						
ロッカー	LKロッカー	P.1246	本体据え置き	---	壁固定1カ所	---	壁固定 + 床固定	
	シューズボックス	P.1247						
	クリーンロッカー	P.1247						
	スクールロッカー	P.1260						

※目標耐震度は、什器本体の転倒を防ぐことを目的とし、振動実験に基づく結果により、設定しています。転倒しないことや、収納物が落下しない事を保証するものではありません。

※1 EDIA・INVENTストレージのラテラル3段タイプは、単体で使わないでください。単体で使用する場合は、床固定が必要です。

Level.0	Level.1	Level.2
①商品本体	①商品本体 ②壁固定金具 ③壁固定施工費	別途、お問い合わせ願います。

以下のような場合は、別途お問い合わせ願います。

- お手持ちの家具への固定作業
- 上記以外の家具への固定作業
- 納品事後の固定作業

お問い合わせ先

@office
家具受注センター



0120-575-594

受付時間：午前9時～午後6時(土・日・祝・夏季休暇・年末年始除く)



help@atoffice.co.jp